



# さくら

## 2016 春

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第51号

〒420-0962  
静岡県葵区東 527 番地の1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 麻機園の開園記念日「演芸大会」

今年も園庭に桜の花が咲き始めた麻機園では、28回目の開園記念日を迎えました。今年の開園記念日は新しい試みとして入所者、入所者の御家族、職員とで「演芸大会」を行いました。

演目は6演目で、1演目は、入所者による「花笠音頭」。昨年11月から毎日練習を行い、本番当日は綺麗にお化粧をし、職員お手製の花笠を持った代表者15名がステージに上がり踊りを披露しました。歌い始めは緊張した様子でしたが歌の中盤にさしかかるとだんだん笑顔もみられ花笠を大きく振り「ちょい、ちょい」と大きな声も出てステージ下で見ている入所者、職員も合わせて「ちょい、ちょい」と大きく声を掛けてステージと会場が一体となりました。2演目は入所者と御家族とで一緒に美空ひばりの歌を笑顔いっぱいについで、素敵な歌声を聞かせてくれ、会場も温かな雰囲気になりました。3演目の「猪の調教」では、職員4名が猪と調教師に変装し、調教師から投げられた物をキャッチしたり、縄跳びをしたりと猪が様々な芸を披露して会場を沸かせました。4演目の「港かっぱれ」は20代の女性職員5名がステージ上で威勢のよい曲に合わせて、美しい舞を披露し、入所者から大きな拍手をいただきました。5演目の「組み体操」は男性職員2名がお互いの身体を支え合いアクロバティックなポーズをとると「わぁーすごい」「上手」と会場より歓喜の声が上がりました。最後の6演目は、ベテラン職員4名で「黄色いサクランボ」をお手製の衣装でお色気たっぷり？で唄い会場の笑いを誘い幕が閉じました。今年の開園記念日は職員と入所者だけでなく御家族も一緒に「演芸」に参加して頂き、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。これからも入所者にたくさん笑って頂けるように、頑張りたいと思います。



麻機園 寮母 牧野晴美

## 開園記念日をお祝いしました！

平成9年に開園したケアハウス桜花は4月1日に19歳になりました。入居者さまから「おめでとうございます」と声をかけていただき、昼食会が行われました。理事長の挨拶のあとに皆さまと乾杯！「今日はお祝いだから」と普段あまり飲まないビールに顔を赤く染めて楽しい会話をしながらお祝い膳をいただきました。

午後には歌の先生をお招きし、伴奏に合わせて唱歌や演歌を大合唱。昼食でお腹いっぱいだったので、歌ってカロリー消費となりました。来年には成人式を迎えます。来年も皆さま一緒にお祝いしましょう！



ケアハウス桜花 生活相談員 佐藤勝洋

## 新人職員紹介



2月から麻機園で働き始めました。仕事に早く慣れるように頑張ります。どうぞよろしくをお願いします。

麻機園 看護師 森田和子



この春より麻機園ケアプランサービスで仕事をしています。新しい環境で戸惑うことも色々ありますが、早く慣れていきたいと思っています。これからよろしくをお願いします。

麻機園ケアプランサービス ケアマネージャー 山本浩子



社会人になってからは長いですが、介護施設の仕事は初めてです。皆様にご迷惑をおかけしないよう仕事を出来るだけ早く覚え、東桜会の一員として力になれるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

麻機園 事務員 塩沢水尾子



4月1日から麻機園で働く事になりました。自分の行動や言葉に責任と自覚を持ち働きたいと思っております。社会人1年目なのでご迷惑をお掛けすると思っておりますが1日でも早く職場に慣れるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

麻機園 寮母 山崎優太

## 寿司バイキング

3月9日に二人のにぎり職人さんを招き、寿司バイキングを行いました。お寿司の好きなネタを好きなだけ食べられる日です。

寿司ネタは、入所者から事前に聞き取り、人気上位の「まぐろ」「えび」を中心にたくさん用意しました。「いただきます。」の挨拶と同時にあちらこちらから「まぐろ頂戴!!」「こっちこっち」等の声が掛かり、寿司職人さんやお寿司を分ける職員は一生懸命声に応えていました。

今日は特別な日。普段食事を残す入所者も「そんなに食べられるの?」と職員が驚くほどの食欲。ニコニコ笑顔でお寿司を楽しむ入所者もいれば、黙々とお寿司を口に入れる入所者もいる。それぞれにお寿司を楽しまれました。

これからも入所者が喜んでいただけるイベントを行って行きたいと思っております。

麻機園 栄養士 岡本香菜

## ケアハウス「桜花」便り ~おひな様に囲まれて~

厳しい寒さがゆるみ始めた3月5日に桜花ではひな祭りお茶会が開かれました。

加藤先生はじめ、6名の先生方がお手前を披露して下さいました。毎年の恒例行事ですが、入居者の皆様は今年も「作法がわからないよ。」と少し緊張してかきこまっていた。先生からの「どのような形で飲んでもかまいませんよ」という言葉に少し緊張もほぐれ、お話ししながら抹茶を楽しみました。

華やかなおひな様のすまし顔に見守られて、ほっこりとしたひとときを過ごすことができました。

ケアハウス桜花 寮母 森 博美

## デイサービス通信 ~我らの人生これからだ~

### 寿司バイキング

3月9日 麻機園で寿司バイキングが開かれ、デイサービスでも、バイキング型式でお寿司を提供しました。

「おかわりいかがですか」の呼びかけに、はじめは遠慮される方も多くいましたが、好みのネタをたくさん選びおいしいお寿司を食べ、お腹も心も大満足の日でした。

### 刺し子

3月より毎週金曜日シニアサポーターの木下和子さんに来ていただき、刺し子に挑戦しています。

図柄を選び、好きな色の刺繍糸で一針一針丁寧に縫っていきます。「昔を思い出すねえ、何でも自分で縫って作ったよ」等と会話をされながら針を進めていても、縫い目はまっすぐ等間隔です。どんな作品が完成するか楽しみです。

麻機園デイサービス 生活相談員 望月昭子

介護の仕事について

根岸友理子

介護職という仕事に携わるまで、正直私の中で老人ホームに対するイメージはあまり良いものではありませんでした。

仕事内容はもちろんのこと、特養という意味もわからず寮母という仕事をさせて頂き、一ヶ月、三ヶ月、半年・・・あつという間に一年が過ぎました。過ぎ行く時間と同時に私の中の老人ホームのイメージも変わっていきました。今では、明るく普通の家と変わらない生活の場なんだなと思っております。

私は一日一人の入所者の名前を覚えるところからスタートしました。同時にたくさん先輩寮母さんに仕事を教えてもらいました。

介護の仕事をする前はテレビで介護に関する番組やニュースを耳にしても「大変なんだなあ」と思う程度でしたが今では興味深く聞くようになり「自分だったら・・・」と考えるようになりました。

毎日名前を覚え仕事を覚えていく中、入所者と話をする機会も増えてきて、声を掛けてもらえるようになってとても嬉しく思います。入所者の方々に「ありがとう」と言われると私でも役に立っているんだとホッとします。

今後入所者の方々とたくさん話をして、より良い関係を持つて仕事に取り組みたいと思っております。